

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	扇町公園
施設所管課・担当	建設局公園緑化部調整課公園活性化担当
条例上の設置目的	市民の健康の増進と文化的な都市生活の確保を目的とする。
業務の概要	扇町公園の管理運営・維持管理に関する業務（利用案内・受付、要望・苦情対応、園内施設管理、関係機関との各種連絡調整など）
成果指標	利用者満足度
数値目標	85％以上
指定管理者名	扇町公園スマイルパートナーズ 【構成員】 大和リース株式会社 関西テレビ放送株式会社 スポーツクラブNAS株式会社
指定期間	令和5年4月1日 ～ 令和25年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者満足度
数値目標	85％以上
年度実績	95.6%
達成率	112.5%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	－	－	－
稼働率	－	－	－

令和6年度 指定管理者年度評価シート

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	16,492,548	19,422,552	1,312,168	業務代行料と相殺する公園使用料相当額の減
	計画	15,180,380	17,738,705		
利用料金収入	実績	156,374	227,920	▲ 93,626	猛暑による集会やロケーションの減
	計画	250,000	250,000		
その他収入 （自主事業収入等）	実績	97,326,155	58,544,634	36,349,774	魅力向上施設がオープンしたことによる増
	計画	60,976,381	87,051,522		
合計	実績	113,975,077	78,195,106	37,568,316	
	計画	76,406,761	105,040,227		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	38,192,712	46,503,030	22,792,712	管理運営体制の変更による増
	計画	15,400,000	15,400,000		
物件費	実績	46,567,961	48,608,712	23,927,961	管理運営体制の変更及び光熱費の高騰による増
	計画	22,640,000	22,640,000		
その他事業費 （自主事業支出等）	実績	69,844,618	36,706,218	8,868,237	魅力向上施設がオープンしたことによる増
	計画	60,976,381	87,051,522		
合計	実績	154,605,291	131,817,960	55,588,910	
	計画	99,016,381	125,091,522		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	112.5%	A	多様なイベント開催により、高満足度に繋げていた。

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・簡易な修繕は委託せずに、指定管理者が自ら実施していた。 ・駐車場においては、照明のLED化を実施することにより、電気代の削減に繋げていた。 ・園地維持管理で発生した落ち葉の一部を将来的な腐葉土として散布し、廃棄物排出量を削減していた。	B	利益配分金なし

令和6年度 指定管理者年度評価シート

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・施設の管理運営水準及び仕様書に沿った維持管理を行い、概ね水準に達する管理状況であった。 ・公園各所にプランター設置やパークセンター前花壇を整備することで、花の見どころを増やし、雑草地にアグロステンマ、ネモフィラ等、花をつける草花5種類6000株の植付けを実施し、植生の遷移を目指していた。 ・オーニング付きベンチの新設や既存ベンチの改修、期間限定でテーブルベンチセットを設置し、快適な空間づくりを行っていた。 ・仕様書では週5日以上と定められている園内清掃を週7日行い、園内美化に取り組んでいた。
事業計画の実施状況	B	・パークセンター、人工芝エリア及び水遊び・憩いエリアを新たに整備し、公園の利便性向上及び新たな魅力づくりに取り組んでいた。 ・多言語対応した公園ホームページを作成し、園内マップの掲載やイベント情報、花情報の発信を行っていた。 ・SNS（Instagramフォロワー2200人・Xフォロワー370人）を活用し、イベント情報や花情報（ユキヤナギ、モクレン、サクラ等）、フォトスポットの配信等、情報発信の強化に努めていた。 ・テレビ番組において、イベント情報の紹介や扇町公園内を利用し撮影を行うなど、メディアを活用し、積極的に情報発信を行っていた。 ・昨年度に引き続き、定期開催イベントとして「扇町マルシェ」を11回開催し、公園の賑わいを創出していた。
施設の有効利用	B	・プラットフォーム「スマイルパーク扇町」（6回開催）、公園コミュニティ「扇町公園もりあげ隊」（6回開催）、扇町公園地域連携協議会（1回開催）の3つの活動モデルを立ち上げ、プラットフォーム主催のイベントを企画し、令和7年5月4日の開催に向けて取り組んでいた。 ・商店街と大阪天満宮が主催する「天神・天満阿波踊り」に協賛し、イベントの賑い、商店街の活性化に寄与していた。 ・キッズプラザ大阪と連携し、バス駐車場の予約のない日は一般乗用車の駐車場として開放し、利便性の向上を図っていた。 ・「カンテレWho'sFOODSFES.2024」等、扇町スクエアと公園との一体感を演出するイベントを開催するなど、公園の範囲に捉われない取り組みを実施し、公園利用を促進していた。
社会的責任・市の施策との整合性	B	・落ち葉を園内の緑地帯に敷設し、廃棄物処分量の削減に努めていた。 ・園内にバイオネストを設置し、清掃・剪定等の維持管理作業において発生する枝や落ち葉を堆肥化するとともに、来園者にも環境保護対策の実例として看板を設置し、紹介していた。 ・最新IoT技術を用いたトングを用い、拾ったごみをモニタリングする清掃イベントを行っていた。

令和6年度 指定管理者年度評価シート

4-2 魅力向上事業の達成状況

・ハード事業として、パークセンター、人工芝広場、水遊び・憩いエリアを令和6年夏に、カフェレストランを令和6年12月にオープンさせ、来園者の憩いの場として人気のエリアとなっている。また、噴水ショーの開催やピクニックセットのレンタル等、来園者にとって魅力的なサービスの提供を行っている。 ・令和6年4月に扇町プール周辺に駐輪場を整備し、不正駐輪の解消に努め、自転車整理業務を就労支援の一貫として、生活困窮者への就労支援や生活支援を行うNPO法人に委託することで社会的課題解決を支援していた。 ・ソフト事業として、定期開催であるマルシェイベント、フードフェスタ（キッチンカー甲子園、アジアングルメフェス、魚ジャパンフェス）、こどものあそび場イベント、防災マルシェ、採蜜の体験会（鶴見緑地の指定管理者と連携）等、多岐にわたるイベントを実施し、公園に賑いを創出した。単なる食イベントだけでなく、ランタンフェスタや出張動物園（あそべる水族館、わくわくいきものワールド）等、今までになかった公園の楽しみ方を来園者に提供していた。 ・構成員に関西テレビ放送が所属している強みを活かし、周辺施設である扇町スクエアと連携してイベントを実施することで、公園の範囲に捉われない取組みを実施できた。また、イベントを中継し、速報性と話題性をリアルにメディア露出することで、公園の魅力発信に寄与していた。

5 利用者ニーズ・満足度等

イベント開催時にアンケート調査を実施し、205名から回答を得た。「公園の管理運営に対して、総合的にどのくらい満足していますか」という問いに対し、回答者の65.4%が「満足」、30.2%が「やや満足」と回答し、合計95.6%が公園の管理運営に満足しているという結果を得ていた。
--

6 外部専門家意見

・単にフードフェスを実施するのではなく、他にない多様なイベントを実施しており、とても魅力的であり、工夫をしていることや様々な仕掛けを模索しているのを感じるため、高く評価できることから、最終評価における加点が認められる。特に公園がきれいになるイベントや取組みは好感が持てるため、続けてほしい。 ・扇町公園の特性を活かし、扇町スクエア等の周辺施設や商店街等の地域と連携した取組みに努めている点も評価できる。地域連携のプラットフォームが立ち上がり、年度内は主催イベントの準備のみであったが、来年度の活動にも期待したい。 ・イベント実施時や人工芝エリア等において、夏場の熱中症対策について懸念されるため、今後検討をされたい。 ・時間やエリアを分けるなど、イベント実施と地域の方の日常利用との両立を図られたい。
--

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	・成果指標に係る数値目標を大幅に上回っていることから非常に評価できる。
市費の縮減	B	・物価や人件費高騰の影響を受け、管理運営が厳しい状況にあっても、経費削減の取組みを進めており、評価できる。
管理運営の履行状況	B+	・園内清掃や植栽管理について、仕様書で定めた水準以上で取り組んでおり、評価できる。 ・ソフト事業は、他にない内容で工夫を凝らして取り組み、公園の賑わい創出に貢献しており、高く評価できる。 ・ハード整備として、パークセンター、人工芝エリア、水遊び・憩いエリア及びカフェレストランをオープンし、にぎわい・交流拠点の場として、公園の魅力向上に寄与しており、高く評価できる。 ・プラットフォームの活動モデル設立や企画の立ち上げなど、地域との連携を図っており、評価できる。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	A	・事業計画及び本市の定める水準で想定した以上の効果が得られた。